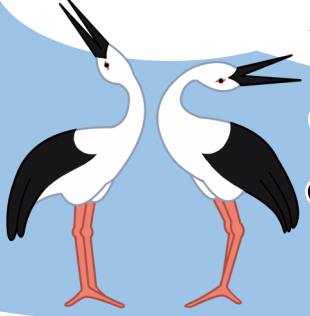


コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第181号

「ついに水中生活へ！」

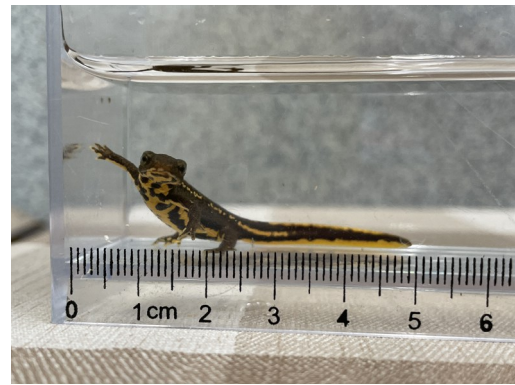
2025年6月16日

今年の春、天空の里でふ化したアカハライモリたちが、ついに水中生活を始めました。

観察ブースやリレー絵日記を通して成長を見守っていただいたイモリたちは、今ではそれぞれのペースで水に入り、少しずつ水の中での暮らしに慣れてきています。



まだ水位は浅め



体長は5センチほど

ふ化後まもなく上陸し、陸上生活を続けていたイモリたち。文献には「数か月で水に戻る」と書かれているものもありましたが、個体の体格差も大きく、浅い水辺で過ごしてはいたものの水中に身体を沈めて生活することはなかったもので、「水に戻るのはまだまだ先かな」と思っていました。



陸上生活時代

そんな中、この春先から少しずつ行動が変わり、6月頃には水辺に降りてくるイモリが増えて、ついには7匹中6匹が本格的に水中生活へ。水に入ったイモリたちは、ゆっくり泳いだり水底でじっとしたりと、落ち着いた様子で過ごしています。

この1年間、私たちは毎日ピンセットで1匹ずつエサをあげてきました。大食いのイモリたちが満足するまで、小さなアカムシを丸めて口元に運ぶ作業はなかなか根気が必要でした。

アカムシから人工飼料への切り替えも一筋縄ではいかず、それぞれの食べ方のクセに合わせて試行錯誤する日々。今では人工飼料もパクパクと食べられるようになり、ほっとしています。

ちなみに、まだ1匹だけは陸の上でのんびり生活中。無理に水に入れることはせず、そのイモリのペースで見守っています。



さいごの1匹

昨年の夏に皆さんと一緒に作ったりー絵日記は、今も図書コーナーでご覧いただけます。小さな卵から始まった命の記録が、こうしてつながっていくのを実感できるのは、本当にうれしいことです。

これからもイモリたちの成長を、のんびり楽しく見守っていけたらと思います。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：ほっぴー